

外国語科学習指導案

1. 履 修 単 位 4 単 位
 2. 実 施 日 時 令和3年10月5日（火） 第4時限
 3. 学 級 1 年 8 組（40名）
 4. 使 用 教 科 書 CROWN English Communication I（三省堂）
 5. 単 元 名 Lesson 5 Food Bank

6. 単元設定の理由

○教材観・指導観

Lesson5 では 1991 年に来日し、2000 年に日本で最初のフードバンクである「セカンドハーベスト・ジャパン」を立ち上げたチャールズ・M・マクジルトンの活動を学習する。無駄に廃棄される食品を回収し、必要とされる人々のところに届けるというこの活動について学ぶことで、貧困や福祉の問題が自分たちにも身近であることを実感するはずである。そこから、貧困に限らず、山積する社会の問題に目を向けさせ、調べ学習や発表活動につなげることで、深く、主体的に学ぶ力や、幅広く情報を収集し、まとめる力を身につけさせるのに適した題材である。

○生徒観

高校入学後、半年が過ぎた。明確な将来の夢や目標を持ち、日々の学習に取り組んでいる生徒も多いが、自分のことで手一杯で、社会のしくみや問題点に無知であったり、無関心な生徒も多い。非営利組織の活動について学ぶことを通して、自分と社会の関わりについて考え、行動するきっかけにしたい。

7. 単元の目標

- (1) 課題に関心を持ち、意欲的に課題に取り組み、積極的かつ友好的な態度でコミュニケーションを図る。
- (2) 社会の問題について、口頭で意見を述べたり、書いたりして考えを適切に伝える。
- (3) 社会の問題について、聞いたり読んだりしたことを正しく理解する。
- (4) 言語の運用に関する基礎的な知識（関係副詞，SVOC[C=分詞]，SVC[C=分詞]）を身に付けるとともにその社会背景を理解する。

8. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
課題に関心を持ち、意欲的に課題に取り組み、積極的かつ友好的な態度でコミュニケーションを図ろうとしている。	身近なことについて、口頭で意見を述べたり、書いたりして考えを適切に伝えることができている。	社会の問題について、聞いたり読んだりしたことを正しく理解している。	言語の運用に関する基礎的な知識（関係副詞，SVOC[C=分詞]，SVC[C=分詞]）を身に付けるとともに、その社会背景を理解している。

9. 指導計画

- ・第1次 Lesson5 (Section1 ~ 4) の内容理解・・・5時間【評価規準エ】
- ・第2次 世界で活躍する非営利組織の活動内容や社会への影響について調べ,まとめる。
・・・4時間【評価規準ア, ウ】
- ・第3次 世界で活躍する非営利組織について, プレゼンテーションの形で紹介し合う。
・・・1時間(本時)【評価規準イ】

10. 本時の指導目標

調べたことや自分の意見を整理して, 口頭で聞き手に伝えることができる。

11. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的評価規準	評価方法
導入 (3分)	warm-up 指定されたトピックについて, ペアで会話をする。	明るく, 話しやすい雰囲気づくりに努める。		
展開 (30分)	グループに分かれ, タブレットを使って個人プレゼンテーションを行う。代表数名は全体の前で発表する。 (Power Point)	・聞き手に伝わるように工夫することを伝える。 ・聞き手は積極的に質問をしたりコメントしたりして, 話し手に協力するよう伝える。	イ	活動の観察資料の提出
(10分)	プレゼンテーションについて, 自己評価と相互評価を行い, 感想を記入する。 (MetaMoJi Classroom)	良かったところを中心に自己評価と相互評価を行う。		
整理 (2分)	JTE と ALT による, 本時の総括を聞く。	良かったところを中心に, 今後の改善点にも触れながら, JTE と ALT が本時の活動についてコメントをする。		

「十分満足できる」と判断される状況	調べたことを, 聞き手にわかりやすい形で整理し, 自分の意見や考えを適切に伝えることができている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	調べたことを全部話そうとするのではなく, 自分が伝えたいことを絞り込んで, 簡単な英語で伝えるようアドバイスする。